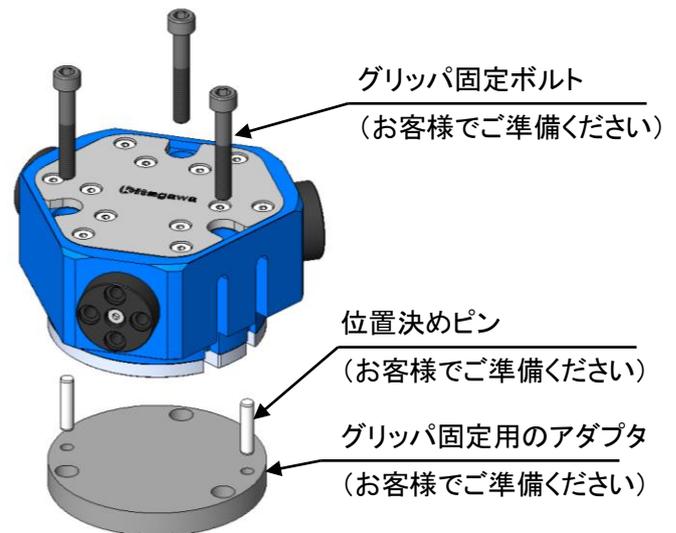


6. 取り付け

6-1. グリッパの取り付け

① 前面取り付け

3箇所の固定ボルト穴および2箇所の位置決めピン穴を利用してグリッパ本体を取り付けてください。尚、グリッパ固定用のアダプタ、グリッパ固定ボルトおよび位置決めピンは、お客様にてご準備ください。



【注意】

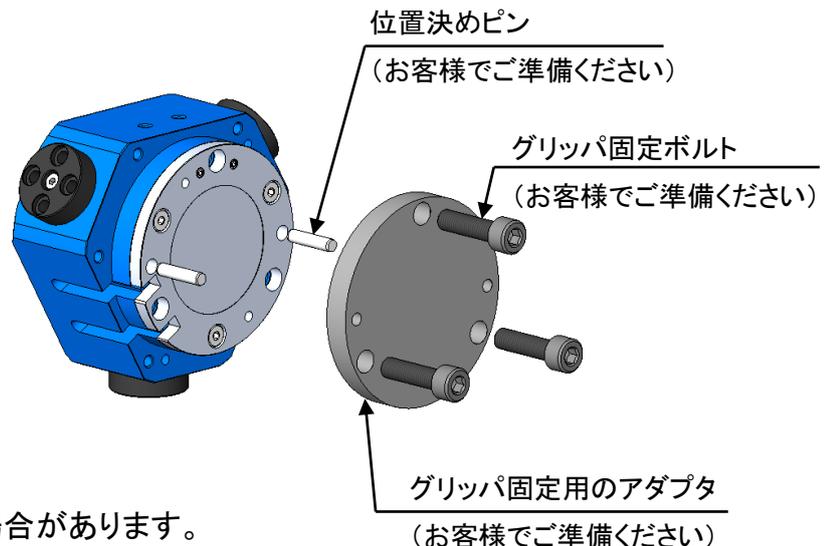
リードスイッチを取り付ける場合、アダプタとリードスイッチが干渉する場合があります。リードスイッチが干渉しないように、アダプタに穴をあけるなどの対策を行ってください。

型式	NPG	306	308	310
グリッパ固定ボルトサイズ		M5	M6	M6
位置決めピン穴	径 ($0^{+0.025}$) (mm)	φ4	φ5	φ5
	深さ (mm)	8(12.8)	12(17.9)	12(18.6)

※()内の寸法は取り付け面からの深さを示しています。

② 背面取り付け

3箇所の固定ボルト穴および2箇所の位置決めピン穴を利用してグリッパ本体を取り付けてください。尚、グリッパ固定用のアダプタ、グリッパ固定ボルトおよび位置決めピンは、お客様にてご準備ください。



【注意】

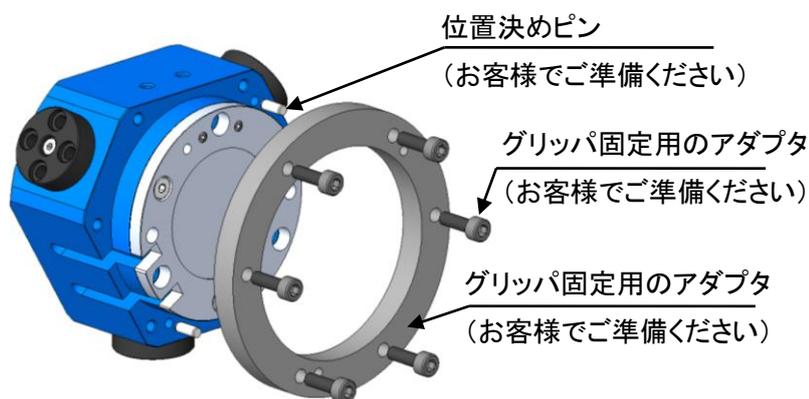
リードスイッチを取り付ける場合、アダプタとリードスイッチが干渉する場合があります。リードスイッチが干渉しないように、アダプタに穴をあけるなどの対策を行ってください。

型式		NPG	306	308	310
グリッパ	サイズ		M6	M8	M8
固定ボルト	ネジ深さ (mm)		14(18.8)	14(19.9)	14(20.6)
位置決め	径 ($0^{+0.025}$) (mm)		$\phi 4$	$\phi 5$	$\phi 5$
ピン穴	深さ (mm)		8(12.8)	12(17.9)	12(18.6)

※()内の寸法は取り付け面からの深さを示しています。

③ 中間面取り付け

6箇所固定ボルト穴および2箇所の位置決めピン穴を使用してグリッパ本体を取り付けてください。
尚、グリッパ固定用のアダプタ、グリッパ固定ボルトおよび位置決めピンは、お客様にてご準備ください。



【注意】

リードスイッチを取り付ける場合、アダプタとリードスイッチが干渉する場合があります。リードスイッチが干渉しないように、アダプタに穴をあけるなどの対策を行ってください。

型式		NPG	306	308	310
グリッパ固定ボルトサイズ			-	M5	M5
位置決めピン穴	径 ($0^{+0.025}$) (mm)		-	$\phi 4$	$\phi 5$
	深さ (mm)		-	5	7

⚠ 危険

- ボルトは必ず規定トルクで締付けてください。締付トルクが不足したり、または過大だとボルトが破損し、グリッパや搬送物が飛散する可能性があります危険です。

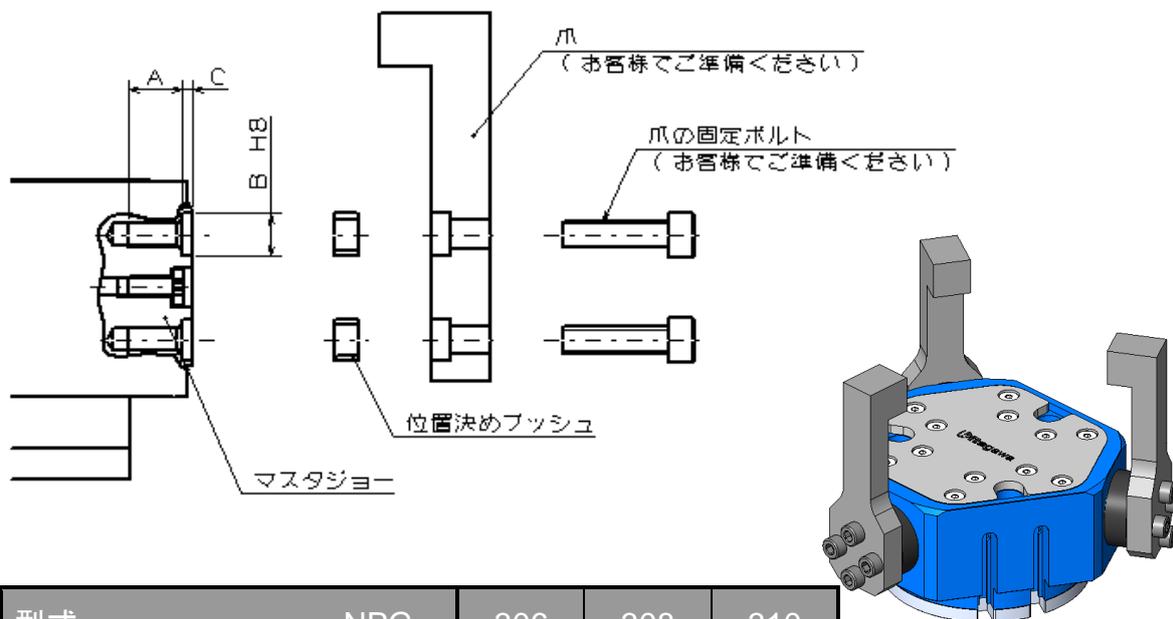
留意

- NPG306 は中間面取付けに対応していません。

6-2. 爪の取り付け

4箇所の取り付けボルト穴、インロおよび位置決めピン穴を使用して爪を取り付けてください。

尚、爪、爪の固定ボルトおよび位置決めピンは、お客様にてご準備ください。



型式		NPG	306	308	310
取り付け ボルト	サイズ		M4	M5	M5
	ネジ深さ	A(mm)	6	10	10
位置決め ピン穴	径(H8)	B(mm)	φ6	φ8	φ8
	深さ	C(mm)	2	2	2

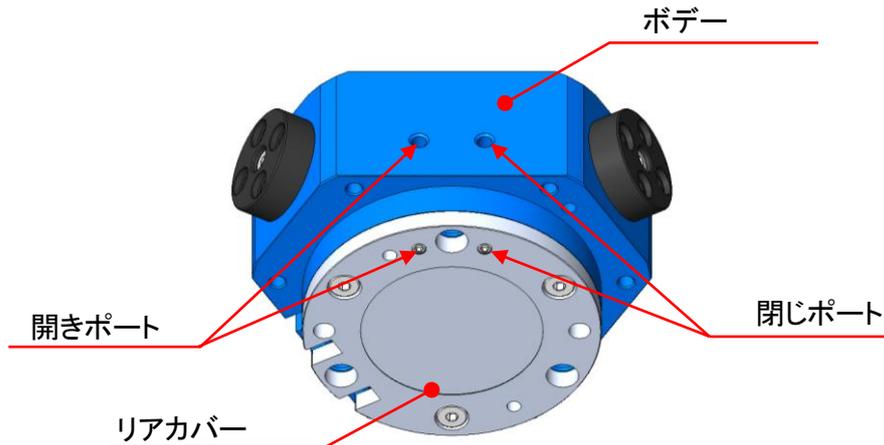
危険

- ボルトは必ず規定トルクで締付けてください。締付トルクが不足したり、または過大だとボルトが破損し、爪や搬送物が飛散する可能性があります危険です。
- 爪を取り付ける時は、空圧用配管を取外してから作業を行ってください。

6-3. 空圧用配管の接続

グリッパの爪を開閉させる為の空圧供給口は、本体側面と背面に設けています。本体側面の供給口を使用される場合は、直接空圧用配管を取り付けて下さい。もし、本体背面の供給口を使用される場合は、出荷時にエア漏れを防止する為のボルトを取り付けていますので、そのボルトを取外した上でグリッパを固定するアダプタから供給して下さい。

尚、本体側面の開閉ポートを塞ぐネジは、お客様にてご準備ください。



型式	NPG	306	308	310
本体側面のポートサイズ		M5	M5	M5
本体背面のポートサイズ		M4	M4	M5

留意

- 本体背面の空圧供給口は、エア漏れを防止する為に止めねじへ接着剤を塗布して取り付けていますので、非常に取外しづらくなっています。その為、その止めねじを取り外す際は、止めねじを破損させないように慎重に作業して下さい。
- 止めねじを取外した後は、本体のねじ穴に固着している接着剤をきれいに除去して下さい。この時、除去した接着剤が、シリンダ内に入らないようにして下さい。

警告

- 空圧用配管の接続は、必ず空圧力を遮断して行ってください。
- 使用流体は圧縮空気を使用してください。
- 圧縮空気が化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、塩分、腐食性ガスを含む時は破損や動作不良の原因となりますので、使用しないでください。

注 意

- エアフィルタ(ろ過度は 5 μm 以下)を通した清浄なエアを使用してください。
- 使用流体温度及び周囲温度は 5~60°Cの範囲内でご使用してください。
- 無給油で使用できますが、給油される場合は、タービン油 1 種(無添加)ISO VG32 を給油してください。
- ISO 8573-1 4 級に準じて、アフタークーラ、エアドライヤ、ミストセパレータなどを選定し、ドレン対策を施してください。
- 開閉速度が必要以上に早くならないようスピードコントローラなどで調整ください。